

平成30年7月25日

各位

上場会社名 株式会社ディーエムエス
 代表者 代表取締役社長 山本 克彦
 (コード番号 9782)
 問合せ先責任者 経理部長 橋本 竜毅
 (TEL 03-3293-2961)

平成31年3月期第2四半期および通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月7日に公表した平成31年3月期第2四半期および通期業績予想について、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 連結業績予想

① 平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,002	432	442	306	52.54
今回修正予想(B)	12,660	550	560	390	66.97
増減額(B-A)	658	118	118	84	
増減率(%)	5.5	27.3	26.7	27.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	11,492	430	433	304	52.25

② 平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,004	1,104	1,124	768	131.88
今回修正予想(B)	25,662	1,222	1,242	852	146.31
増減額(B-A)	658	118	118	84	
増減率(%)	2.6	10.7	10.5	10.9	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	24,004	1,098	1,107	767	131.80

(2) 個別業績予想

① 平成31年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,000	440	305	52.37
今回修正予想(B)	12,658	558	389	66.80
増減額(B-A)	658	118	84	
増減率(%)	5.5	26.8	27.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	11,490	431	302	51.99

② 平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,000	1,120	765	131.37
今回修正予想(B)	25,658	1,238	849	145.79
増減額(B-A)	658	118	84	
増減率(%)	2.6	10.5	11.0	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	24,000	1,102	764	131.24

(3) 業績予想の修正理由

平成31年3月期第2四半期(累計)の連結業績につきまして、売上高は従来予想から658百万円上回る12,660百万円となる見込みです。これはデータ活用機会と技術の充実化および旺盛な販促活動を受けてDMが堅調に推移するとみられるためです。また、物流においてもインターネット通販出荷代行、販促キャンペーン商品送付などの取扱量が想定を上回って推移する見込みです。

利益面につきましても、DMと物流の増収効果に加え、業務効率化の取組みによる労務費の抑制が見込まれるため、営業利益は550百万円、経常利益は560百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は390百万円と従来予想を上回る見込みです。

また、個別業績につきましても、連結業績予想と同様の理由により修正しております。

なお、平成31年3月期通期の連結業績予想ならびに個別業績予想につきましては、第1四半期までの堅調な業績の動向を加味して修正しております。

※上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、経済情勢、市場動向等による不確実性により、実際の業績はこれら予想値と異なる場合があります。

以上